

令和5年度 社会教育事業実績報告書

1 社会教育係の推進事業

(1) 生涯学習の総合的な推進

町内で実施される講座情報を取りまとめた冊子「あしや塾」を広報へ折り込み（全戸配布）を行いました。（平成21年度から継続実施）。また、転入時に住民窓口で配布するなど、あらゆる機会を通してPRに努めました。

○生涯学習講座あしや塾の発行：6,800部製作、町内全戸配布（令和6年3月21日（木）配布）

(2) 社会教育の推進

①社会教育委員の会

芦屋町全体の社会教育の向上及び生涯学習課が実施した事業の検証、生涯学習課が実施する事業の助言を受けました。また、各種研修会に参加し個々の資質の向上を図りました。

②社会教育団体の支援

社会教育団体補助金

○芦屋町人権・同和教育研究協議会（235千円）

○町民ブラスバンド：芦屋シンフォニック吹奏楽団（300千円） 以上 計2団体

※町民ブラスバンドについては、補助金の他、楽器の貸付を行う。

取組への評価・課題

●生涯学習講座あしや塾への掲載内容の充実を図ることができた。

●行政と地域の協働のまちづくりを担う各社会教育団体に対し、町内の各種事業における団体との連携や、各団体の独自の活動（研修会など）における会員（団員）の資質や技術の向上を求めるとともに、地域の指導者（団体）としての人材育成と継続的な人材確保を促進するため、支援やアプローチを行った。

(3) 青少年の健全育成

①あしやハンズ・オン・キッズ

町内3小学校の4年生～6年生を対象に年間を通じた体験活動を実施した。

家庭を離れて日常生活では体験できない規律ある共同生活を送ることで、連帯感や協調性、責任感を醸成することができた。

○町内の小学校4～6年生を対象に年間を通じた体験活動の実施。参加者数28人。

○スタッフにハンズ・オン・キッズOB、OGなど延べ43人が参加し、連携を図りながら参加者の指導にあたる。

実績	日程	内容	場所
開講	5月18日（木）	開講式、保護者説明会	町民会館
1回	5月27日（土）	あそビーチ	町民会館、海浜公園、海水浴場
2回	6月18日（日）	パラスポーツ	町民会館、小体育館

3回	7月22日(土)	食育	中央公民館
4回	8月19日(土)～ 20日(日)	サマーキャンプ	町民会館、玄海の家
5回	9月30日(土)	おもしろ科学	中央公民館、スペース LABO
6回	10月21日(土)	エコチャレンジ	中央公民館
7回	11月12日(日)	出店体験	海浜公園
8回	12月23日(土)	ウィンターキャンプ	町民会館 ※天候不良のため夜須高原青少年自然の家での宿泊を中止。1泊2日を1日に変更
9回	1月20日(土)	まとめ研修①&お楽しみ会	町民会館
10回	2月17日(土)	まとめ研修②&ボウリング	町民会館、折尾スターレーン
閉講	3月9日(土)	報告会、お別れ会、閉講式	町民会館

取組への評価・課題

- ハンズ・オン・キッズ事業は、昨年と同様にコロナ禍以前よりも参加人数や宿泊日数を縮小して実施したが、参加者及び保護者のアンケートでは満足度が高かった。研修生は定員割れの28人であるが、研修の中止はなく、さまざまな体験活動を行った。引き続き、参加が促進されるよう事業内容の検討、事業の啓発を行っていく。

②栃木県佐野市との青少年交流事業

茶の湯釜の産地として歴史的に共有の文化をもつ栃木県佐野市（天明釜）との交流事業の実施。

○令和5年度は、本研修を8月8日（火）～10日（木）に芦屋町で本研修を実施する予定としていたが、台風接近により中止した。

○芦屋町参加者：10人（小学生）、佐野市参加者：12人（小中学生）

○スタッフに佐野市青少年交流事業OG1人が参加し、連携を図りながら参加者の指導にあたった。

実績	日程	内容	場所
説明会	7月3日(月)	保護者説明会	町民会館
1回	7月15日(土)	第1回事前研修(仲間づくり、両市の学習)	中央公民館
2回	7月29日(土)	第2回事前研修(子どもサミット準備、名刺づくり)	中央公民館
3回	8月26日(土)	事後研修(鋳物印かんづくり)	芦屋釜の里

取組への評価・課題

- 佐野市青少年交流事業は、台風接近により本研修を中止した。
- 参加申し込みが定員割れを起こしているため、参加者数を確保できるように啓発を行っていく。

③芦屋町青少年問題協議会

町内各種団体の代表者や地域住民により組織され、芦屋町の青少年健全育成にあたり、様々な事業について、啓発活動や総合的な施策の調整、審議を行った。

○あいさつ運動……………毎月月初めの登校日（学期初めは2日間）に街頭啓発の実施。

- 非行防止夜間巡回……夜間巡回（12回）
- 環境浄化……有害図書、有害玩具の立入調査実施や白いポストの維持管理、水禍防止看板等の管理
- 広報啓発……「すくすく育てあしやっ子」記事の掲載。4回
- 安全パトロール実施…教育委員会職員が町内へ外出する際に、併せて安全パトロールを実施した。また、不審者発生時に随時実施。※R5年度は計13回実施

取組への評価・課題

- 青少年問題協議会事業について、折尾警察署等関係機関と連携し情報交換・共有していく。
- 安心・安全なまちづくりの実現のため、町民に対して不審者情報を発信し、町全体の防犯意識が高まるよう努める。

④ いきいき芦屋っ子育て補助事業、国内外研修派遣事業補助事業

交流や文化・産業・地域活動のあり方などの研修をとおして、地域リーダーとなる人材の育成を目的に国・県や社会教育関係団体が主催する人材養成事業への参加費を助成する。

- いきいき芦屋っ子育て補助事業 事業利用者なし
- 国内外研修派遣事業補助事業 1件（JA海外研修）

取組への評価・課題

- 補助事業の活用を図るため、補助事業の内容等を広報紙に掲載し周知を行っていく。

⑤ 二十歳のつどい開催

1月の成人の日前の日曜日に二十歳を祝う会を開催した。第一部の記念式典では、芦屋シンフォニック吹奏楽団による演奏などを実施し、第二部では恩師との交流会を実施した。

- 令和6年1月7日（日） 町民会館大ホール
- 対象者166人に対し、参加者115人（町内居住93人、町外22人）

⑥ 新成人のお祝い実施

○民法改正により令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、新成人になることをお祝いし、大人としての自覚を持つことを促すため、町長からのお祝いメッセージカードを贈った。

- 対象者135人にお祝いメッセージカードを送付

取組への評価・課題

- 令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から第二部は飲食物を提供しない形で実施したが、令和5年度は飲料を提供し実施した。
- 成人になることに伴う注意喚起を示した消費者庁啓発チラシを同封することで、新成人としての自覚を促すことができた。

（4）家庭教育の推進

① チャレンジキャンプ事業の実施

子ども自身の豊かな心の醸成を図り、心身ともに健全で社会性のある人格形成を目指すとともに、親子で参加することで家庭教育力の向上を図り、体験活動の重要性を感じてもらうことを目的で実施

した。

○町内の小学校 1～3 年生の児童とその保護者を対象に、デイキャンプを実施した。焼き板づくり及び野外クッキングなど日常生活では体験できないプログラムを行った。

○参加者数：20 人（保護者 11 人・児童 9 人）

○日時：令和 5 年 10 月 14 日（土）午前 9 時～午後 1 時

○場所：総合運動公園 みどりの広場

取組への評価・課題

●チャレンジキャンプ事業は、日帰りプログラムで実施し、親子で体験活動に参加することで家庭教育力の向上を図った。アンケート結果からも参加者の満足度は高かったため、アンケート結果を基に、参加者のニーズを把握して、実施回数の増加を検討していく。

②広報啓発活動

○広報紙に「すくすく育てあしやっ子」などを掲載した。

発行日	テーマ	タイトル
6 月号	すくすく育てあしやっ子No.187 薬物	「薬物から子どもを守ろう」
9 月号	すくすく育てあしやっ子No.188 外遊び	「外遊びを楽しもう」
12 月号	すくすく育てあしやっ子No.189 ほめる	「ほめ上手になろう」
3 月号	すくすく育てあしやっ子No.190 ゲームやスマホのルール	「家庭でルールをつくりましょう」

取組への評価・課題

●子育てに時間が取れない、子育てに不安や悩みがある、誰にも相談できず孤立しがちである、子育てに関心はあるが学ぶ余裕がないなど、広報紙に「すくすく育てあしやっ子」を掲載することによりさまざまな保護者に対して啓発活動を行うことができた。

(5) 人権・社会同和教育の推進

①芦屋町人権教育・啓発基本計画の推進

令和 4 年度に作成した第 2 次計画（計画期間：令和 5 年度から 14 年度）に基づき、各課及び関係団体とともに人権教育及び人権啓発を図った。

○令和 5 年 3 月に第 2 次計画を策定した。本計画では令和 5 年度から令和 14 年度までの 10 年間の計画期間とし、「一人一人が個人として尊重される社会」「一人一人が個性や能力を十分に発揮する機会を保障される社会」「違いを認め合い、多様性が尊重される社会」の三つの社会を実現することを基本理念に、事業を推進していく。

取組への評価・課題

●「第 2 次芦屋町人権教育・啓発基本計画」に基づき、人権に関する意識の向上及び人権啓発を推進して行くことができた。

●定期的に事務事業調査を実施し、達成状況を把握することで、第 2 次人権教育・啓発基本計画に基づいた施策の推進に努めていく。

②人権・同和教育講演会（7月：福岡県同和問題啓発強調月間）

人権・同和教育などに対する正しい認識と理解を深め、自らの課題とすることで、意識高揚を図るため、芦屋町、芦屋町教育委員会、芦屋町人権・同和教育研究協議会主催で、町民を対象に映画上映を開催した。

○芦屋町人権講演会 7月7日（金） 午後7時～8時30分 あしや夢リアホール

※同和問題啓発強調月間行事として開催

映画上映（テーマ：性的少数者の人権）

（1）性の多様性とLGBTQ+ ～誰もが自分らしく生きるために～

（2）カランコエの花

来場者：164人

取組への評価・課題

- 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことで、制限を行わずに開催することができた。5年度の人権テーマに沿った映画を上映することにより、福岡県同和問題啓発強調月間に併せて、町民に対して啓発を行うことができた。
- 参加者の年齢も40歳代から50歳代が多く、参加者が固定化されている。さまざまな人が参加したくなるような内容を検討するとともに、町のホームページ、公式LINE、戸別受信機などを活用して周知を図り、来場者の増加に努める。

③人権まつりの開催（12月：人権週間：12/10（人権デー）を終日とする1週間）

芦屋町、芦屋町教育委員会、芦屋町人権・同和教育研究協議会主催で、実行委員会形式により開催した。

○第25回芦屋町人権まつり 令和5年12月9日（土）午前10時～午後3時 芦屋町町民会館

※人権週間啓発行事として開催

各種団体による「ふれあいイベント」（2団体）

青少年の主張大会 発表者10人（小学生7人、中学生3人）

人権講演会（テーマ：高齢者の人権）

講師：矢野 大和（鷹取屋神社宮司、おおいた観光特使）

演題：笑って元気 ～必要とされる喜び～

人権啓発パネルの展示、小中学生による人権啓発作品の展示、男女共同参画啓発パネルの展示

来場者：387人

取組への評価・課題

- 通常通りの人権まつりを開催することができた。（令和元年以来）
- 令和元年の来場者には及ばなかったが、さまざまなイベントを通して人権啓発を図ることができた。
- 人権まつりのアンケート結果では、大変満足であったとの回答が67%あり、良かった催し物として、人権講演会と青少年の主張大会で88%の方が良かったと回答している。また、人権に関しての関心や理解についても、47%の方が大変深まったとの回答をしている。
- 毎年テーマが変わるため、テーマに沿って講演の形式や内容を検討し、より多くの人に人権啓発ができるように努めていく。また、人権まつりの開催に関する情報をホームページ及び戸別受信機などで情報発信するとともに、町内各学校や区長会への周知を徹底し、人権まつりの来場者数の増加に努める。

④広報啓発活動

○人権カレンダーの製作

小中学生の人権作品（ポスターなど）を掲載した人権啓発カレンダー（A4版）6,800部を製作し、町内全戸配布（令和5年12月25日（月）配布）

○人権啓発冊子の製作

性的少数者の人権、高齢者の人権をテーマに啓発冊子（A4版16ページ）6,800部を製作し、町内全戸配布（令和6年2月25日（日）配布）

○街頭啓発の実施

福岡県同和問題啓発強調月間（7月） 令和5年7月3日（月） 町内1か所

人権週間 令和5年12月1日（金） 町内2か所

○各種研修会への参加

福岡県社会人権・同和教育担当者研修会

福岡県市町村社会人権・同和教育担当部課長研修会

北九州教育事務所管内人権教育指導者研修会

人権啓発研究集会

部落解放・人権確立全九州研究集会

取組への評価・課題

- 人権カレンダー・人権啓発冊子のページ数やレイアウトなど、住民が人権に触れやすい内容を、担当及び芦屋町人権・同和教育研究協議会内で検討していく。また、人権カレンダーが、各家庭で活用できるようにレイアウトなどを検討していく。
- 人権啓発冊子では、第2次芦屋町人権教育・啓発基本計画の9つの分野の中から性的少数者の人権及び高齢者の人権をテーマに選出し、特集記事を作成した。また、さまざまな人権課題や、町内で行っている人権啓発活動について紹介し、人権問題の情報提供や人権尊重の教育と啓発に努めた。
- 人権問題について正しい理解を促すことができるよう人権啓発冊子の内容の充実を図り、町内の全戸配布を継続して芦屋町の人権教育・啓発に取り組む。
- 同和問題啓発強調月間中に街頭啓発を行い、人権講演会（映画）のPRと同和問題に対する意識啓発を実施することができた。
- 人権週間に街頭啓発を行い、人権まつりのPRとともに人権問題に対する意識高揚に努めることができた。
- 各研修会において差別の実情や近隣市町村の啓発事業実践事例を学ぶことができた。芦屋町の今後の人権教育・啓発事業の参考となるものを検討し、事業の充実を図っていく。

(6) 男女共同参画社会の推進

①芦屋町男女共同参画推進プランの推進

男女共同参画社会の実現のため、令和4年度に策定した第3次芦屋町男女共同参画推進プラン（計画期間：令和5年度～14年度）に基づき、各課とともに事業を推進した。

②住民向け研修及び職員研修の実施

○住民向け研修を実施し、18人が参加した。（令和5年6月17日（土））

演題：カードゲームで学ぶSDGs

講師：2030SDGs ゲーム公認ファシリテーター 本山晴子 氏

○職員向け研修を実施し、対象者 165 人のうち 113 人が参加した。(令和 6 年 1 月 31 日 (水))

演題：性別による無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について

講師：NPO 法人ジェンダー研究所 副理事長 横山美栄子 氏

③広報啓発活動

○6 月の男女共同参画推進週間に、男女共同参画に関する特集記事を広報に掲載した。また、男女共同参画のパネルを展示し啓発を図った。

④男女共同参画審議会

男女共同参画推進プランに基づく、事務事業の報告や計画について審議・助言を行った。

取組への評価・課題

●第 3 次男女共同参画推進プランに基づいた取り組みを実施する。事務事業調査を実施することで達成状況を把握し、施策の推進に努める。

(7) 社会体育活動の充実

①社会体育事業の実施

芦屋町スポーツ推進委員・芦屋町体育協会・総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツを通じた交流やコミュニティの活性化及び町民の体力づくりのイベントを実施した。

種目・大会名等	実施日	実施場所	参加者数
キッズスポーツフェスタ (ニュースポーツ体験など各種スポーツ競技)	令和 5 年 6 月 3 日 (土)	総合体育館 (メインアリーナ)	84 人
町民体育祭	中 止	総合運動公園 中央グラウンド	
ポールウォーキング講座 (1 回)	令和 5 年 6 月 18 日 (日)	洞山～夏井ヶ浜 はまゆう公園	7 人
スロートレーニング講座 (1 回)	令和 6 年 3 月 17 日 (日)	総合体育館 トレーニング室	6 人
障がい者レクスポ大会	令和 6 年 3 月 23 日 (土)	総合体育館 (メインアリーナ)	66 人

取組への評価・課題

●キッズスポーツフェスタは、新型コロナウイルス等感染症の対策を行いながら、コロナ禍前に行っていた種目で大会を実施した。内容の充実化を図りつつ継続して実施していく。

●障がい者レクスポ大会は、新型コロナウイルス等感染症の対策を行いながら、コロナ禍前に行っていた形式で大会を実施した。参加人数は、コロナ禍前に近づいてきている。内容の充実化を図りつつ継続して実施していく。

●各種事業でコロナ禍前に比べて、参加人数が減少していた。参加人数を増やすため、チラシのデザイン変更など、周知方法の工夫が必要。

②スポーツ推進委員

町民体育祭やキッズスポーツフェスタなど町の事業運営に関する企画・立案や、町の生涯スポーツ振興に関わることについて協議を行った。

③社会体育団体の支援

A. 芦屋町体育協会

競技スポーツの推進を図るため芦屋町体育協会と芦屋町スポーツ少年団を支援し、スポーツ指導者の人材育成を図った。

ア. 社会体育団体補助金

芦屋町体育協会補助金	(3,549,031円)
スポーツ少年団補助金	(519,949円)
町内スポーツ大会実施助成金	(434,919円)

イ. スポーツ大会・教室の開催

スポーツを通じた青少年健全育成や、こどもから大人までが参加できる町内スポーツ大会及びスポーツ教室を連携して開催することで、町民が健康づくりや親睦を目的に各種競技に参加できる機会の提供を行った。

種目・大会名等	実施日	実施場所	参加者数
グラウンドゴルフ大会	令和5年5月28日(日)	中央グラウンド	117人
ソフトバレーボール大会	令和5年6月25日(日)	総合体育館	76人
ソフトボール大会	令和5年9月10日(日)	中央グラウンド	153人
卓球大会	令和5年10月29日(日)	総合体育館	31人
マラソン大会	令和5年11月26日(日)	海浜公園	66人

児童を対象とした事業

教室名	実施日	回数	実施場所	参加者数
水泳教室(体協主催)	令和5年7月24日(月) ~28日(金)	1回	山鹿小学校プール	50人
ジョギング教室 (体協主催)	令和5年11月20日(月) ~24日(金)	1回	祇園崎運動広場	32人 ※5日間 延べ人数

B. 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブ実施事業の広報活動など支援した。

C. 遠賀郡体育協会

夏季・秋季・冬季郡民大会の広報活動、会場貸付など支援を行った。

郡体育協会負担金 937,500円

取組への評価・課題

- 体育協会、スポーツ少年団の他、県等の各担当部局との連携も深め、所属団体にさまざまな情報の提供を行う。
- 既存事業に加え、町のニーズに合わせた新たな健康づくり教室の実施に向けて検討していく必要がある。
- 体育協会との連携によるスポーツ事業の実施及び活性化が必要である。
- 体育協会役員の高齢化や、役員のなり手不足などにより、連携を行う上でさまざまな課題点があるが、今後も連携しながら事業を継続していく。

④ 社会体育施設の改修等

【総合運動公園】

- 総合体育館正面入口にスロープと屋根を正面階段に手すりを設置する工事を行った。
- 総合運動公園第4駐車場及びアッシーグラウンドに防犯カメラを設置した。
- グラウンド倉庫・トイレ内照明のLED化工事を行った。
- 総合体育館内の防球ネットが老朽化していたため、買い替えた。
- 総合体育館・小体育館の老朽化した卓球台を買い替えた。
- 体育館利用団体が試合などを行う際に、貸し出しができるよう、デジタルスポーツカウンターを購入した。
- 中央グラウンドの定例的な整備を行うため、整備用レーキを購入した。
- 総合体育館にあるワイヤレスマイクが老朽化していたため、買い替えた。
- グラウンド倉庫内の長机を効率的に運搬・収納するため、長机収納台車を購入した。
- 総合体育館にある肩掛け草刈機が老朽化していたため、買い替えた。

【テニスコート】

- 駐車場整備工事を行い、駐車場を拡張した。
- テニスコート用ネットが老朽化していたため、買い替えた。

【小体育館】

- 照明のLED化工事を行った。

【祇園崎運動広場】

- 駐車場に照明を設置し、その他照明のLED化工事を行った。

⑤ 芦屋町体育スポーツ出場参加補助金

芦屋町民のスポーツの普及及び振興を図るため、各種大会（全国大会・九州大会など・郡民体育大会・県民体育大会）に参加する者に対し、補助金を交付した。

体育スポーツ大会出場参加補助金	5人
郡民体育大会（夏季大会）	2人
県民スポーツ大会（夏季大会）	2人
県民スポーツ大会（陸上大会）	31人
郡民体育大会（秋季大会）	135人
県民スポーツ大会（秋季大会）	51人
市町村対抗福岡駅伝	14人
郡駅伝競走大会	28人

(8) ボランティア活動センター事業

①コーディネート事業

ボランティアを必要としている団体・組織と、ボランティアに興味・関心のある個人・団体を繋げることができた。また、ボランティアに興味・関心のある個人に対しての相談に乗り、情報提供を行った。ボランティアやイベント、セミナー情報に関するチラシやポスターなどを利用し、情報発信を行った。

②りーどぼらんていあキッズ事業

平成24年度より子どもたちのボランティア活動推進に取り組んでいる。子どもたちのボランティア活動は町内の小中学生を対象に「りーどぼらんていあキッズ」として、研修会や実践活動を通じてボランティア活動について学習している。参加者数25人。

実績	日程	内容	場所
1回	6月10日(土)	活動結成式	町民会館
2回	8月2日(水)	ペットボトル工場見学	北九州エコタウンセンター
3回	10月1日(日)	芦屋ビーチクリーンアップ	芦屋海浜公園内の海岸
4回	10月2日(月)	赤い羽根街頭募金協力	スーパーはまゆう
5回	11月25日(土)	あしやまちマーケット運営支援	町民会館
6回	12月9日(土)	人権まつり「あそびのひろば」	町民会館
7回	2月3日(土)	年間活動結果のとりまとめ	ボランティア活動センター
8回	2月24日(土)	高齢者・障がい者疑似体験	町民会館
9回	3月3日(日)	年間活動報告会・修了式	町民会館

③ボランティア養成・支援事業

芦屋町ボランティア活動センターの活性化

○登録団体数 29団体(令和6年3月末現在) 前年度から4団体増

○個人登録者数 40人(人財バンク登録含む) 昨年度から

○利用者数の推移(単位:人)

年度	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
令和2年度	69	55	78	193	109	219	275	188	250	199	150	210	1,995
令和3年度	207	79	126	228	92	55	208	211	228	181	201	356	2,172
令和4年度	186	193	243	212	175	236	231	209	205	210	177	263	2,540
令和5年度	200	265	231	204	154	165	180	375	248	164	268	267	2,721

○講座・研修の実施

新規ボランティアを発掘・育成するため、ボランティア未経験者がボランティア活動を始めるきっかけとなるような体験型講座や、経験者のスキルアップを目的とした体験型・交流型研修を実施した。

日 程	内 容	場 所	参加者数
5月13日(土)	第1回ワールドカフェ	町民会館	42人
7月23日(日)	子育て支援ボランティア研修	町民会館	28人
11月25日(土)	あしやまちマーケット	町民会館	138人
12月8日(金) ～23日(土)	クラフトマーケット	ボランティア 活動センター	
12月16日(土)	フードパントリーボランティア研修	町民会館	12人
2月10日(土)	第2回ワールドカフェ	町民会館	29人

取組への評価・課題

- ボランティア活動センターは年間を通じて一定の利用が見られる。新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく減少していたが、徐々に回復している。
- どの団体も人材確保や後継者不足といった課題を抱えている。活動団体の周知やボランティア研修会などを実施し、町民にボランティア活動を広め、ボランティア活動を始めるきっかけとなる機会を提供していく。
- 第3次芦屋町ボランティア活動推進計画に基づき、各種事業を推進していく。

(9) 町民会館運営事業

- 貸館運営のみで、館独自の講座、研修会、イベント企画などは実施していない。
- 計画的に施設の整備及び備品の交換が行えるよう、施設管理者や管理人による日々の点検や業務委託による定期点検を実施し、施設の維持管理に努めた。
- 427,520円の使用料収入。11,494人の利用があった。
- 1階から3階の多目的トイレに呼出ボタンを設置する工事を行った。
- 安全確保のため、舞台吊物昇降装置を囲む安全柵を設置する工事を行った。
- 老朽化した舞台吊物駆動装置を安全性確保のため、電動から手動へと改修する工事を行った。
- 消火補給水槽が老朽化したため、改修工事を行った。
- 電動式移動観覧席のドライブリンクが老朽化したため、取替工事を行った。
- 演台及び花台が老朽化したため、買い替えた。

取組への評価・課題

- 施設及び備品の老朽化により突発的に不具合や故障が発生しており、その都度修繕及び備品を購入している。計画的に施設の整備及び備品の交換が行えるよう、施設管理者や管理人による日々の点検や業務委託による定期点検を実施し、施設の維持管理に努める。

2 公民館・文化系の推進事業

(1) 公民館活動の活性化

①公民館講座の充実

○中央公民館講座

開催日	講座名	講師	参加者
4月16日(日)	幕末維新史再発見Ⅲ～長州征伐と高杉晋作～	一坂太郎(萩博物館特別学芸員)	34人
5月21日(日)	幕末維新史再発見Ⅳ～大政奉還と坂本龍馬～	一坂太郎(萩博物館特別学芸員)	29人
6月17日(土)	カードゲームで学ぶSDGs	本山晴子(SDGsゲーム公認ファシリテーター)	18人
7月8日(土)	色彩心理学入門(実践)～色と心身の素直な関係～	浅井さち子(心理カラーコンサルタント)	20人
8月20日(日)	芦屋で鋳物を楽しもう!第2弾	樋口陽介(芦屋鋳物師)	14人
9月13日(水)	痛い病気の診断と治療	小野村健太郎(おのむら医院院長)	28人
10月21日(土)	知っておきたい芦屋町の貴重な動植物～恵まれた自然を将来に残すために～	吉岡学(樹木医)	16人
11月19日(日)	心に響くモンゴルの風	マンダルフ(馬頭琴演奏者)	70人
12月16日(土)	芦屋釜の今とこれから	新郷英弘(芦屋釜の里館長)	18人
令和6年 1月21日(日)	昔懐かし北九州ロケ地巡り	矢野寛治(映画評論家)	56人
令和6年 2月18日(日)	健診データの読み方(産業医科大学出前講座)	田口要人(産業医科大学産業医実務研修センター)	24人
令和6年 3月16日(土)	日本に関する国際法の話V	深町公信(熊本大学名誉教授)	17人
期日未定	芦屋基地を見て回ろう	航空自衛隊芦屋基地隊員	中止
12回実施		合計	344人

○各種公民館講座の実施

	講座名	開催時期	参加者	回数	延人数
中央公民館	スマホ入門講座	9月26日(火)～ 10月24日(火)	15人	5回	72人
	スマホ実践講座	10月31日(火)～ 12月5日(火)	15人	10回	143人
芦屋東公民館	小筆教室	6月4日(日)、 11月18日(土)	14人 12人		
	フラワーアレンジメント講座	12月23日(土)	17人		
山鹿公民館	書道教室	10月4日(水)～ 18日(水)	10人	3回	26人
	しめ縄づくり	12月13日(水)	7人		

取組への評価・課題

- 中央公民館講座は、コロナ禍における参加者数の制限などを緩和して実施した。受講者数は回復傾向にあるが定員に満たない講座も多いため、参加者数増を見込む講座内容や周知方法などの検討が必要である
- スマホ入門講座では、国が推進するデジタル社会の実現に向けた重点計画を踏まえ、機器を購入して間もない人を含む初心者を対象に基本操作や閲覧及びLINEなど、デジタルツールとしての利便性と危険性を学ぶ講座を開催した。機能や操作の変更点など日進月歩であるため、受講後も独学が必要となることが考えられる。

②土曜学び合いルームの事業

○5月～3月の土曜日に3小学校区で開催。(開催時間：午前9時～11時)

指導は、大学生ボランティア及び学校サポーターなど地域ボランティアで対応。

取組への評価・課題

- 土曜学び合いルームは、4年ぶりに事業を再開した。指導者として、九州女子大学からの学生ボランティアだけでなく、地域ボランティアの参加が徐々に増えている。

③各小学校区祖父母学級

○3小学校区毎に開設

	芦屋小校区	芦屋東小校区	山鹿小校区
開催回数	9回	12回	19回
登録者(R5年度)	40人	28人	29人
延べ参加者	60人	106人	150人

取組への評価・課題

- 学校行事への参加や学級生による自発的な活動が増え、学習意欲の高揚が図れた。
- 全体的に登録者数が減少している。
- 平成30年度より実施している九州女子大学との連携講座「漢字の話」は、学級生に好評なため、引き続き実施できるよう関係各所と連携を取る。

④学校サポーター事業（平成23年9月発足）

○延べ177人の参加

【芦屋小】小学校敷地内除草・花植え作業、1年生授業支援、授業参観、土曜学び合いルーム
(実施日・参加者数)

除草・花植え作業 10月13日(金)9人、12月5日(火)7人、
令和6年3月6日(水)4人

1年生授業支援 令和6年2月6日(火)5人

授業参観 令和6年2月16日(金)2人、3月1日(金)3人

土曜学び合いルーム 5月27日(土)～令和6年2月17日(土)延べ5人

【芦屋東小】花植え作業、土曜学び合いルーム

(実施日・参加者数)

花植え作業 6月13日(火)7人、9月11日(月)7人、11月24日(金)7人

土曜学び合いルーム 5月27日(土)～令和6年2月17日(土)延べ83人

【山鹿小】1・3年生授業支援、山鹿まつり支援、土曜学び合いルーム

(実施日・参加者数)

1・3年生授業支援 6月21日(水)2人、7月7日(金)4人、
令和6年1月24日(水)4人

山鹿まつり支援 9月27日(水)3人、11月25日(土)4人

土曜学び合いルーム 5月27日(土)～令和6年2月17日(土)延べ21人

○芦屋小学校(19人登録)、芦屋東小学校(13人登録)、山鹿小学校(10人登録)

※芦屋中学校は特定のサポーターがないため、必要に応じて3小学校の登録者へ活動を要請する。

取組への評価・課題

●学校サポーター事業について、学校行事の再開などにより活動機会が徐々に増えている。学校サポーターの登録者や参加者は減少傾向にある。学校ニーズを把握しサポーターが活動できる場を提供していくとともに、活動状況の広報や周知方法を検討し、サポーターの増加を図る。

⑤地区公民館長指導育成事業

○福岡県公民館連合会が主催する福岡県公民館実践交流会に参加した。

日時：令和6年1月25日(木) 午後1時～4時

会場：宗像ユリックス

参加者：地区公民館長2人と中央・芦屋東・山鹿の各公民館長及び担当係員が参加

※芦屋町単独での地区公民館長研修は実施できなかった。

○地区公民館活動費補助金 1,384,480円

○公民館長事務交付金 769,500円

⑥芦屋町文化協会と各種同好会の育成事業

○芦屋町文化協会が主催する「あしや文化祭」と「ふれあい文化講演」の各事業活動に対し人的支援等を行った。

○文化協会だより発行の支援を行った。

○芦屋町文化協会補助金 2,052,000円

⑦芦屋町青少年健全育成町民会議の支援

ア. 児童生徒の安全確保のための活動

- 「みまもり隊」の推進
- 「こども 110 番のいえ」の推進

折尾警察署とデザインや記載内容について協議し、新デザインの掲示物を作成した。

イ. あいさつ運動

- 各校区育成会議で街頭啓発を実施

毎月月初めの登校日（学期始めは2日間）を統一街頭啓発日と定め、地域の協力のもとあいさつ運動を実施。また、15日についても、町民会議役員が広報車に乗車し、啓発活動を実施している。

ウ. 非行防止のための夜間巡回

- 長期休暇時を中心に、各区単位で地域の実状に応じて実施

エ. 校区コミュニティ醸成活動

- 各校区の特徴に併せて、学校行事への参画やスポーツ行事を実施

- ・ 芦屋小校区 : 10月13日(金) 親子除草作業 4人
令和6年3月6日(水) 花いっぱいキャンペーン 3人
- ・ 芦屋東小校区 : 9月23日(土) 東小まつり支援 22人
令和6年3月8日(金) 卒業式支援(鉢植え花贈呈) 1人
- ・ 山鹿小校区 : 5月14日(日) 浜運動会支援(交通誘導・見回り) 18人
11月25日(土) 山鹿まつり支援 12人
令和6年3月12日(火) 卒業式支援(鉢植え花贈呈) 1人

- 町内一斉清掃への参加呼びかけを行い、参加児童に参加賞を配布

参加者 150人(芦屋小校区 59人、芦屋東小校区 39人、山鹿小校区 52人)

オ. 研修会の開催

- 指導者研修会 : 令和5年8月23日(水)

「地域の安全・安心について学ぶ」をテーマとしたDVD上映

カ. 啓発活動

- 「町民会議だより(地区回覧板)」の発行・・・2回/年(5月・12月)
- 「町民会議だより(全戸配布版)」の発行・・・1回/年(4月)

キ. 青少年の主張大会

- 町大会 : 令和5年12月9日(土)

発表者 10人(小学生7人、中学生3人)、司会者2人(中学生)

ク. 家庭の日啓発

- 小中学生による作文、ポスターの作品募集

応募作品数 : 作文 112点、ポスター 96点

- 作文の部 : 優秀賞 3人

- ポスターの部 : 優秀賞 1人、奨励賞 2人

ケ. 芦屋町青少年健全育成町民会議補助金 600,000円

取組への評価・課題

- 町民会議、各校区育成会議の活動が活発化していくよう支援していく。
- 「子ども 110 番のいえ」掲示物のデザイン変更に伴い、改めて配布先の実態把握や新規協力者を求める。

⑧公民館施設の改修

- ・中央公民館の高圧受変電設備の高圧気中開閉器及び関連部品を交換し、安定した電力供給を継続するため設備の更新工事を行った。
- ・中央公民館の正面玄関にある 2 系統の吹き抜けスロープに屋根を設置し、利用者への雨天対策として改修工事を行った。

(2) 図書館事業

①図書館まつり事業

○春の図書館まつり

○4月22日(土)～5月14日(日)

子ども読書の日(4月23日(日))にあわせた読書活動推進事業

- ・子ども読書の日特別おはなし会……4月23日(日)中央公民館 21 会議室 参加者 36 人

- ・おすすめの本展示……町内小中学校連携事業

4月22日(土)～5月14日(日) 参加者 199 人

- ・ブックリサイクル……保存期間切れの雑誌や新聞のリサイクル

4月22日(土)～28日(金) 参加者 128 人

○図書館夏フェスタ

○7月1日(土)～8月23日(水)

- ・本の森探検ツアー……夏休みを迎えた児童・生徒に読書のきっかけづくりとして、貸出冊数に応じたスタンプラリーの実施

パスポート配布枚数 539 枚 達成数 291 枚

達成延べ人数 小中学生 92 人 未就学児 45 人

大人 154 人 合計 291 人

- ・子ども図書館員……7月29日(土) 午前9時45分～正午 5 人

(フレンズ Jr. 2 人が手伝いで参加)

- ・図書館工作……8月6日(日) 午後2時～4時 7 人

○秋の図書館まつり

○10月28日(土)～11月12日(日)

読書週間(10月27日(金)～11月9日(木))にあわせた読書活動推進事業

- ・おはなしの絵展示……町内保育所(園)、幼稚園との連携。(図書館前ロビー)
参加者 146 人

- ・おすすめの本展示……町内小中学校との連携。(図書館多目的室)

参加者 219 人

- ・ブックリサイクル ……破損や長期保存の傷み等で貸出が少なくなった除籍本の
リサイクル 10月28日(土)～11月3日(金・祝)
参加者 205人
- ・ハンコ de ポン ……本の貸し出しとクイズを楽しむ 参加者 49人
- ・子ども図書館員 ……11月4日(土) 午前9時45分～正午 参加者 5人
- ・秋の特別おはなし会 ……11月5日(日) 中央公民館 21 会議室 参加者 38人

②子ども図書館員事業(再掲)

- 図書館の仕事体験を通して子ども達に図書館を身近なものにする。
- 7月29日(土) 小学4年生～中学1年生の計5人、フレンズ Jr. 2人 合計7人
(図書館夏フェスタ事業)
- 11月4日(土) 小学4年生～6年生の計5人(秋の図書館まつり事業)

③図書館講演会など

- 9月24日(日) 午後2時～4時
 - ・松村比呂美さん(推理作家)による講演会とサイン会
「物語のヒント –短編小説ができるまで–」参加者 52人
- 6月10日(土) 大人の上映会
「夏の夜空と秋の夕日と冬の朝と春の風」午後1時～2時50分 参加者 18人
- 令和6年3月3日(日) お楽しみ上映会
「おしりたんてい2」午後2時～3時 参加者 34人
- ぬいぐるみおとまり会
令和6年2月3日(土) 午前11時～4日(日) 午後6時
夜の図書館をぬいぐるみに探検してもらう企画。おはなし会と一緒に参加したぬいぐるみを
預かり、翌日の午後6時までに迎えに来てもらう。ぬいぐるみが夜の図書館を探検している
写真をプレゼントする。参加者 10人

取組への評価・課題

- さまざまなイベントを実施することで、図書館への来館や読書活動の推進を図ることができた。

④図書館ボランティアの指導育成

- 図書館ボランティアによる定期的な読み聞かせの実施
芦屋町図書館1階 おはなしのへや 各日午前11時～11時30分
- にじの会 ……毎月第2、4日曜日
- お話ポケット ……偶数月第2土曜日
- おはなしトントン ……毎月第3土曜日
- 赤ちゃんおはなし会「たち」 ……毎月第1水曜日
- 特別おはなし会の実施(再掲)
図書館ボランティアと連携し、中央公民館 21 会議室で年2回実施
- 子ども読書の日おはなし会 …… 4月23日(日) 午前10時45分～正午 参加者 36人
- 秋の特別おはなし会 …… 11月5日(日) 午前10時45分～正午 参加者 38人

取組への評価・課題

- 幼児期の読み聞かせの大切さを周知することができた。
- ボランティア団体メンバーの高齢化と人数が減ってきていることが課題である。ボランティアと連携し、参加者増加のための広報活動に努める必要がある。

⑤ 「ブックスタート」・「キッズブック 1・2・3」

- 健康・こども課と連携し、毎月1回の4カ月児健診の時に、読み聞かせの大切さや絵本の面白さを伝え、子育てを支援する。
- 乳幼児用の絵本2冊と保護者用の本、手提げ袋の配布。
- 乳幼児の保護者に向けて「読みきかせの手引き本」の同時配布。
- 配布対象者に図書館の紹介を行い、図書館の利用を促す。
- 本年度は年12回実施し、69組の親子に配布。
(4/27(木)、5/24(水)、6/28(水)、7/27(木)、8/30(水)、9/27(水)、10/26(木)、11/22(水)、12/27(水)、1/25(木)、2/22(木)、3/25(月)に実施)

取組への評価・課題

- 家庭での絵本のよみきかせを始めるきっかけとなり、子育て支援・家庭教育支援につながっている。図書館の利用促進にも効果があり、引き続き関係部署と連携し成長過程でのよみきかせの必要性の周知を図る。

⑥ 町内小中学校、地域との連携事業の推進

ア. 小学校見学受け入れ (図書館利用説明・館内見学・書籍の貸出)

- 芦屋小学校2年生 児童27人 引率2人 6月9日(金)
- 芦屋東小学校2年生 児童21人 引率2人 7月11日(火)
- 山鹿小学校2年生 児童51人 引率4人 12月6日(水)

イ. 小学校団体貸し出し

- 町内三小学校の全学年の児童数分の書籍を学期に1回、学年に応じた内容を選書し貸し出し。特別支援学級については、所属児童の実態、学年を考慮し選書を行った。

ウ. 中学校団体貸し出し

- 書籍の貸し出しを中学生に拡充するため、芦屋中学校の文化委員会と連携して11月から1カ月間の貸し出しを実施。文化委員が図書館に来館し、職員の助言を受けながら、1年生は各クラス30冊、2・3年生は各クラス20冊の選書を行った。

エ. 小中学校児童生徒の「おすすめの本」の展示

- 春の図書館まつりと秋の図書館まつりで、児童生徒による「おすすめの本」を展示。
- 図書館内に、紹介された本を集めた特集コーナーを設置。

オ. 中学1年生への「おすすめの本リスト」の配布

- 中学校を訪問し、新1年生におすすめの本を紹介することで、読書への興味を高め、図書館利用を促進する。7月12日(水)、13日(木)
- 図書館内に、紹介された本を集めた特集コーナーを設置。

カ. 保育所(園)、幼稚園の見学受け入れ (館内見学・作品見学・館内での本の読み聞かせ)

○芦屋中央幼稚園の園児たちの団体見学を受入れ、絵本に親しんでもらうために電子図書による読み聞かせの実施。令和6年2月8日（木） 園児49人 引率8人

キ. 保育所（園）、幼稚園児の「おはなしの絵」の展示（再掲）

○秋の図書館まつりで、保育所（園）、幼稚園児による「おはなしの絵」を展示。

○図書館内に、紹介された本を集めた特集コーナーを設置。

取組への評価・課題

●各学校や保幼と連携することで、芦屋町図書館の利用促進につながっている。今後も図書館資料や機材を活用した活動を継続し、町内全ての小中学校と、さらに多くの保育園、幼稚園との連携を深め、特に小学校高学年や中学生の図書館利用の推進に努める。今後は、児童の電子図書館の利用促進にも努めたい。

⑦地域との連携

おでかけシニア図書館

○町内高齢者施設2カ所（まつかぜ荘・松露）への毎月1～2回、30冊ごとの本の貸し出し。

（まつかぜ荘には月に1回、松露には月に2回の貸し出し）

○リクエストを受けて、施設利用者の希望の本を積極的に貸し出す。

取組への評価・課題

●図書館に来ることのできない高齢者に、読書の楽しみを広げていくことができている。

⑧電子図書館システム導入の検討

電子図書館の導入

○電子図書館の導入に関し、遠賀郡内広域共同利用について郡内4町で調整会議を行い、12月21日（木）よりサービスの提供を開始した。

○サービス開始に向け、広報あしや12月号にチラシを折り込み、全戸配布した。

○利用者向け講習会：令和6年1月13日（土） 参加者5人（大人4人、こども1人）

○遠賀郡広域電子図書館負担金 3,866,500円

取組への評価・課題

●サービスの提供を開始することができた。今後、利用状況の把握に努め、新規利用者の拡大を図り、学校現場での活用方法を検討する。

⑨学習図鑑などの更新（令和4年～6年度事業）

○古くなった学習図鑑などを重点的に更新した。

令和5年度更新内容：SDGs、多様性、福祉、環境に関する書籍 139冊

取組への評価・課題

●現行の学習指導要領や社会情勢の変化に対応した図鑑等を整備することができた。また学校図書室との連携にも支障があったが改善することができた。

⑩令和5年度利用統計

○開館日数：288日

○蔵書数 74,241冊（図書のみ）

○登録者数

令和5年度新規登録者数				登録者総数（累計）			
児童	学生	一般	合計	児童	学生	一般	合計
77人	8人	146人	231人	917人	670人	4,299人	5,886人

○利用者数（貸出人数）

児童	学生	一般	合計
3,157人	252人	11,521人	14,930人

○貸出冊数

一般書	児童書	絵本	図書合計	雑誌	AV	その他	合計
40,788冊	11,996冊	18,077冊	70,861冊	3,555冊	632	26冊	75,074冊

○広域利用

	岡垣	遠賀	水巻	北九州	中間	その他	合計
利用者	446人	163人	269人	1,382人	71人	18人	2,349人
貸出冊	2,596冊	933冊	1,100冊	8,278冊	338冊	101冊	13,346冊

○相互貸借

	絵本	児童書	一般	その他	合計
借受冊数	5冊	3冊	278冊	0冊	286冊
貸出冊数	7冊	16冊	222冊	0冊	245冊

取組への評価・課題

- 電子図書館の活用も含め、より多くの利用を促し、利用者に満足してもらう図書館となるため、図書を選書、館内の本を紹介するコーナーの充実、イベントの検討を行っていく。

(3) ギャラリーあしや事業

①年間入館者

○1,704人の来館者があった。

取組への評価・課題

- 企画展や特別展以外の常設展示に力を入れるとともに、町民ギャラリーとしての更なる活用を促進するため、広報活動を工夫する。また、貸館については、円滑な展示会利用ができるよう、利用者支援を行う。

②企画展・特別展の実施

- 「焼き絵師 Kazumi 展」〔7月15日（土）～8月27日（日）〕開催日数：44日 来館者：407人
焼き絵（ウッドバーニング）という手法を使用した作品を展示した。
- 「現代アーティスト展」〔11月3日（金・祝）～12月3日（日）〕開催日数：31日 来館者：721人
芦屋町出身の画家・石橋高次氏と、ご本人と繋がりのある九州ゆかりの計8人による合同形式の展示会を開催した。

取組への評価・課題

- 「焼き絵師 Kazumi 展」では、焼き絵という初めてのジャンルの展示会を行うことができた。また、Kazumi氏による焼き絵のワークショップを開催し、初めての体験ができたと参加者に好評だった。

- 「現代アーティスト展」では、8人の作家の協力を得てさまざまなジャンルの作品を展示した。また、バンドライブやギャラリートーク、アートパフォーマンスなどのイベントを開催し、来場者からは見ごたえがあったと好評であった。
- 特別展や企画展の広報や周知について、情報発信する手法が現段階で限られている。集客を増やすために、出展者のネットワーク利用やメディアに取り上げられるタイミングを検討する必要がある。

③ワークショップの実施

ギャラリーコーディネーターによるワークショップを実施 総参加者数 98 人（ほか同伴者 6 人）

- ・第 1 回「マスキングテープアート講座」・・・5 月 28 日（日）参加者：16 人
- ・第 2 回「プラ板でアクセサリ講座」・・・6 月 24 日（土）参加者：10 人
- ・第 3 回「Kazumi 先生の焼き絵講座」・・・8 月 19 日（土）参加者：23 人（ほか同伴者 1 人）
※講師：Kazumi 氏
- ・第 4 回「つまみ細工講座」・・・9 月 30 日（土）参加者：10 人
- ・第 5 回「親子でペーパーフラワー講座」・・・10 月 22 日（日）参加者：11 人
- ・第 6 回「スノードーム講座」・・・12 月 17 日（日）参加者：17 人
- ・第 7 回「折り紙講座」・・・令和 6 年 2 月 24 日（土）参加者：11 人（ほか同伴者 5 人）

取組への評価・課題

- 講座内容について常に検討を行い、企画展・特別展に関連するテーマや新規講座を取り入れ、新規の参加者増へつながるよう努力する。
- 子どもの参加者が多いと想定していた講座に大人が参加するなど、ワークショップの年齢層が幅広くなっている。

④学校との連携・支援

- 「芸術家のたまご展」〔令和 6 年 2 月 10 日（土）～25 日（日）〕

開催日数：16 日 来館者：323 人

芦屋町内の小中学校や近隣中学校及び中学校文化連盟などの作品を展示した。

取組への評価・課題

- 「芸術家のたまご展」は、児童・生徒の作品が校外で観覧でき、来館者からは好評であった。

⑤町所蔵作品の常設展示実施と貸しギャラリーの活用促進

- 「芦屋町の芸術家たち」〔4 月 1 日（土）～6 月 30 日（金）〕開催日数：91 日 来館者：21 人
ギャラリー収蔵の作品を展示した。

- 「ワークショップ展」〔9 月 2 日（土）～10 月 22 日（日）〕開催日数：51 日 来館者：17 人
ギャラリーあしやワークショップで制作した作品を展示した。

- 「田中繁吉展」〔12 月 17 日（日）～令和 6 年 1 月 31 日（水）〕開催日数：46 日 来館者：14 人
ギャラリー収蔵の作品のうち、芦屋町の画家である田中繁吉氏の作品を展示した。

- 「世界遺産「明治日本の産業革命遺産」、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」パネル展
〔令和 6 年 3 月 2 日（土）～3 月 17 日（日）〕開催日数：16 日 来館者：97 人
ギャラリーを利用者団体へ貸し出し、パネル展が開催された。

取組への評価・課題

- 常設展では、主に芦屋町にゆかりのある人たちの作品やワークショップの作品を展示することで、芦屋町の芸術やギャラリー事業の発信に取り組んでいる。
- 来館者は定期的に公民館を利用している同好会の会員やワークショップの参加者がほとんどであり、公民館を利用しない人への周知ができていない。ホームページやLINEを活用するなど、展示やギャラリーの貸し出し情報の周知方法を検討する必要がある。